

平成 29 年 1 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、投資関連が横ばいで推移しているものの、雇用関連が堅調に推移し、観光関連が持ち直している。また、消費関連がやや持ち直し、生産活動の一部で持ち直しの動きが見られるなど、全体としてやや持ち直している。

生産活動は、10月の鉱工業生産指数が3カ月連続で前年を上回った。電子部品関連は持ち直しの動きがみられる。食品関連では、畜産で弱含みの動きがみられる。個人消費関連はやや持ち直している。投資関連では、民間建築工事費予定額は前年を上回ったものの、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。主要ホテル・旅館宿泊客数は、鹿児島・霧島・指宿の3地区合計で、2カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は前年を上回る施設が多くみられた。

【生産活動】… 一部で持ち直しの動き

電子部品関連は、製品単価の下落圧力等あるものの、自動車関連等が堅調に推移し、持ち直しの動きがみられる。

11月の焼酎生産は2カ月連続で前年を下回り、出荷量は3カ月連続で前年を下回った。

11月のかつお節生産は、4カ月連続で前年を上回った。

12月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けは前年を下回ったものの、民間工事向けが前年を上回り、全体で2.6%増と2カ月連続で前年を上回った。

12月の紙パルプ生産は、3カ月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場はスギ、ヒノキとともに前年を上回った。

【畜産関連】… 弱含みの動き

12月の子牛価格は前年を上回ったものの、出荷頭数は前年を下回った。また、12月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は2年ぶりに前年を下回った。11月の枝肉生産量は前年を下回った。

12月の豚肉相場は前年を下回った。11月の枝肉生産量は前年を上回った。

12月のプロイラー相場は、もも肉、むね肉ともに前年を下回った。11月の処理羽数は前年を上回った。

また、12月の鶏卵相場は前年を下回った。

【消費関連】… やや持ち直し

11月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では4カ月ぶりに前年を上回った。また、11月の専門量販店販売額は2.9%増となった。12月の乗用車新車販売台数は、3カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は15.9%増、小型車は26.3%増となった。また、12月の軽自動車は2カ月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】…持ち直し

12月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、北陸、韓国からの入り込みが落ち込んだものの、九州ふっこう割やLCC香港線就航の効果等で関東、九州、香港からの入り込みが伸びたことなどにより、8.3%増と2カ月連続で前年を上回った。鹿児島地区は東北、北陸からの入り込みが落ち込んだものの、関東、九州、中国からの入り込みや個人客が伸びたことなどにより、2カ月連続で前年を上回った。霧島地区は中部、韓国からの入り込みが落ち込んだものの、関西、九州、香港からの入り込みや個人・団体客ともに伸びたことなどにより、2カ月連続で前年を上回った。指宿地区は北陸、関西、韓国からの入り込みや団体客が落ち込んだものの、関東、九州、香港からの入り込みや個人客が伸びたことなどにより、3カ月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は個人客が増加し、6カ月連続で前年を上回った。

12月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの施設で前年を上回った。

【投資関連】… 横ばい

12月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。11月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。11月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったものの、貸家と分譲が前年を下回り、全体で5.8%減と5カ月ぶりに前年を下回った。また、新設住宅着工戸数の合計の3カ月移動平均は前年を上回り、10.4%増となった。11月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3カ月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】… 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

11月の輸出額は、食料品及び動物が前年を上回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブが前年を下回り、全体で24.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。輸入額は、穀物及び同調整品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で13.5%増と3カ月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】… 堅調

11月の有効求人倍率は前月と同水準の1.09倍となった。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を5.0%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年を上回った

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件と前年同月（4件）を上回り、負債総額は13億62百万円と前年同月（11億99百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)